

※短歌は 22 作品を掲載します

中村 琴江 選 投稿数 20 句

冬蝶のくぐる笥ふせや袖そでの宿

(評) 笥は長い竹を地上にかけ渡して山水を通すもの。袖の宿へ引き水をしているのです。小春日和の明るい日差しの中に、冬蝶が(紋黄蝶でしょうか)加わり佇む作者を和ませたのです。光景の見える秀句です。友と行くの句、明の春は初春のこと。「野の広々と」に新年を迎えた作者の希望に満ちた喜びが溢れており季語にぴったりの新鮮な秀句です。

三沢 長谷河 ソノ

友と行く野の広々と明の春

日向ぼこシルバーカーの二人かな

福の神授かるやうな初えびす

皆野 引問 千鶴

極月や無理しないでと子の電話

持久走五番になれた冬の空

短冊の展示に添ふる寒椿

今朝和む川面逆立つ鴨のゐて

冬麗や新垣勉コンサート

紅葉の大内宿に芋だんご

散策や冬日を友として歩く

すえまごに女のひまご十月に

美の山の初日を拝み音頭おんどうを唄って囃す事始め也
 豊作の大根漬けん皮を剥く風おさまりし縁の日溜まり
 なき妻と外国旅行アルバムをケアハウスにてめくる日々なり
 犬と猫よりそい寝むりしのぐ冷え吾が危惧笑い孫指さすや
 猟犬の追い鳴き出たぞ勢子の声テンションマックス雪山の狩り
 この齢で目出度くもなしと思ひしがそと置かれたケーキはうれし
 4・5冊を再三読みて味わいぬ短歌はじめし我は歌集を
 畑中の残りしキューリ挽ぎ採りて夕餉の膳に添えし楽しむ
 平凡な生活にあれと念じつつ地図なき八十路を踏み締め生きる
 解かれても拉致さる苦悩引き摺りて被害者語る人権フォーラム
 大正の八年うまれ年かさね目おほるにて心さみし
 少額でも救える道はある筈だ学生募金千円箱え
 足裏より冷へ身に沁むる厨にぞ万年主婦は今日も立ちたる
 ベランダの菊の鉢植え咲き終えて来年又ねとそと水やる
 命賭け国を愛するスーチャー氏の民主勝利に輝くミャンマー
 紅葉の飯盛り山にバス旅行幼き戦士哀れさ思ふ
 何処までも広き空なる福島の御霊に捧ぐ御詠歌の鈴
 夜祭の饞を受け探査機はリュウグウ目指す旅路に就きぬ
 フランスのテロのニュースの動向に平和を願ひ冬耕に励む
 通学路脇の岩間にししおとし年間不断優雅を落とす
 晴明を羽生せん手がえんじれば世界さい高ぜつたい王者
 歌詠みの指を折り行く散歩道出来し喜びに心踊りぬ

※12月号の訂正 記憶から遠のく火箸十能も気付くそのこと辞書繰りながら 皆野 引問 万亀
 抜群の内村選手の技さばき世界王者の風格示す 下日野沢 浅見 豊子

俳句・短歌を募集
 作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して
 総務課へお寄せください。
8日必着 1人1句、1首に限ります。

金子兜太先生トークショー

現代俳句界を代表する俳人金子兜太先生が、産土(うぶすな：生まれ育ったところ)の皆野町や秩父音頭などをテーマにトークショーを行います。
 96歳になってますます意欲的に活動されている先生のお話が聴ける貴重な機会をお見逃しなく!



期 日 1月30日(土)
場 所 文化会館
内 容 ①伝統芸能音楽ライブ 午後1時～
 ②金子兜太先生のトークショー 午後1時30分～
入場料 無料

問合せ 観光協会(産業観光課) ☎62-1462

※満1歳の赤ちゃんを募集します。2月号の締め切りは、1月10日(日)まで。ホームページからも応募できます。